

2. 気仙沼まち大学運営協議会（宮城県気仙沼市）

～まちを良くする それぞれの一步を応援する「気仙沼まち大学構想推進プロジェクト」～

① 取組背景・地域課題

- 気仙沼市では、震災後、復興と地域の活性化を目指して、数々のプレイヤーによる「まちを良くする」取り組みが活発に行われてきた。
- そういった取り組みが、より市内全体に広がり、「学び」を「実践」へとつなげる循環を生む手助けをいかにしてできるかを模索している。
- 「気仙沼まち大学」（以下、「まち大学」という。）は、『まちを良くする、それぞれの一步を応援する』というミッションのもと3年前にスタート。今後は関係性の整理や、住民の認知度向上などを通じて、まち全体の取り組みの高度化を図る。

② 支援体制

コーディネーター (支援事業者)	(株)BOLBOP
外部専門家 連携団体等	・ 取組の推進経過を踏まえて 検討予定

③ 本事業の目的と取組内容

「まち大学のミッション」ならびに「事務局機能の役割」を改めて明確にし、
ミッション実現に向けた具体的なアクションについて優先順位づけを行いながら確実に推進する

取組① まち大学の中長期的展開と 運営体制の明確化

- ⚡ まち大学のビジョンの明確化
- ⚡ まち大学運営協議会事務局の役割明確化
- ⚡ ビジョン実現に向けたKPIの設定
(利用者数、提携団体数、講師数など)

- まち大学のビジョンならびに中長期計画の策定
- まち大学運営事務局の役割および運営体制の見直し

取組② 市内外の関係団体との 連携強化

- ⚡ まち大学として提供したい学びのコンテンツならびにターゲットイメージの整理
- ⚡ 上記を提供できる提携候補団体洗い出し
- ⚡ 提携候補団体に提供できる機能（まち大学への参画メリット）の明確化
(情報発信機能、顧客管理機能など)

- まち大学に協力してくれる提携団体の合意とりつけ(約20団体)。
- スクエアshipにおける提携団体および個人講師によるプログラム実施(提携団体:5回、個人講師:3回、市外団体:1回)

取組③ まち大学に対する 住民の認知度向上

- ⚡ webやソーシャルメディアでの情報発信方法の見直し(HPの改修、FBページの見直し)
- ⚡ 新スクエアship(年末を予定)の運営体制の見直しおよびブランディング手法の見直し

- これからのまち大学のビジョンを反映したまち大HPのリニューアルリリース
- 新スクエアShipでまち大学コンセプトを伝えるイベント実施